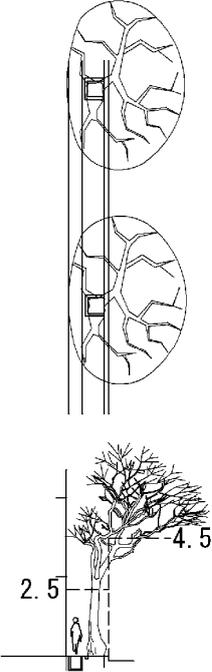
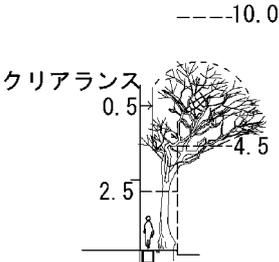
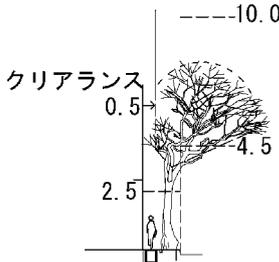
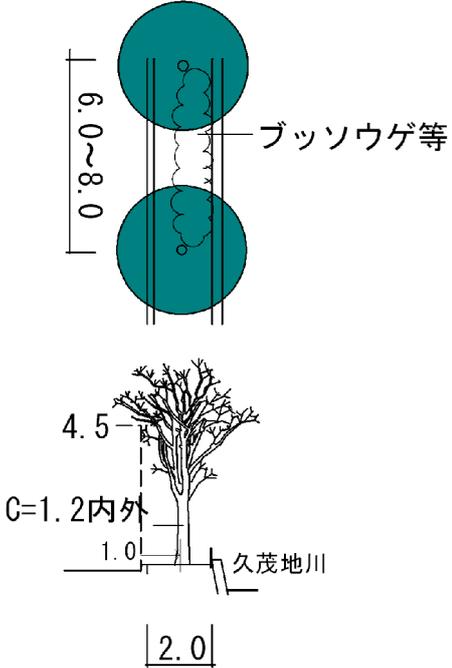
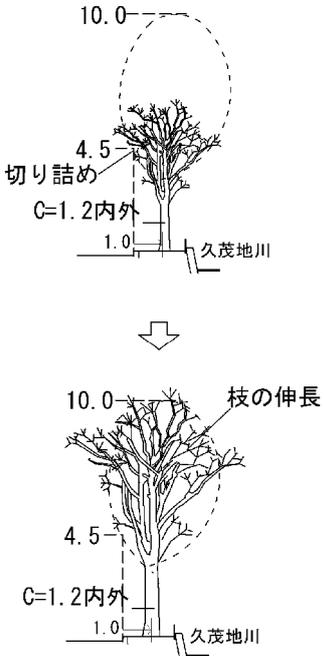


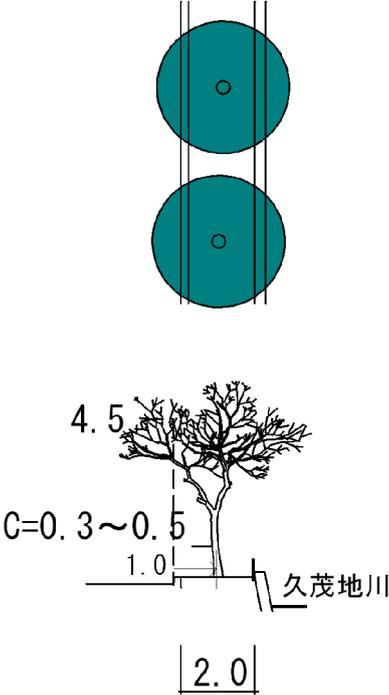
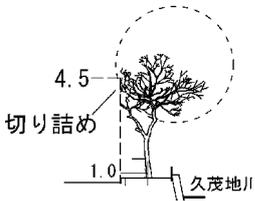
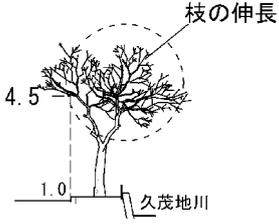
道路名：若狭2号

植栽樹種	ホルトノキ	図面
現況写真	 <p data-bbox="300 958 647 994">狭い空間で大きな樹冠を形成</p>	
考察	<p data-bbox="185 1061 798 1218">ホルトノキが大木にそだつてみどり豊かな街の景観を形成している。植樹柵は0.5×0.5と小さいので根が柵から溢れており、部分的にはアスファルトや縁石を損壊している。</p>	 <p data-bbox="818 1106 1031 1137">※プロポーション</p> <p data-bbox="818 1144 1436 1218">歩道が狭すぎて考慮できない。現在の状況を大きく変えない、α樹冠で維持。</p>
計画のテーマ・目標	剪定計画	
剪定タイプ：維持タイプ	自然樹形：盃状形	 <p data-bbox="1031 1368 1171 1400">クリアランス 0.5</p> <p data-bbox="1123 1480 1171 1512">2.5</p> <p data-bbox="1203 1435 1251 1467">4.5</p> <p data-bbox="1203 1308 1310 1339">10.0</p>
計画樹冠：考慮せず	 <p data-bbox="1031 1794 1171 1825">クリアランス 0.5</p> <p data-bbox="1123 1906 1171 1937">2.5</p> <p data-bbox="1203 1861 1251 1892">4.5</p> <p data-bbox="1203 1733 1310 1765">10.0</p>	
剪定の要領	<p data-bbox="185 1451 943 1518">現在の樹冠の大きさは余り変えず、樹形が崩れた場合に切り戻し剪定を行う。</p> <p data-bbox="185 1525 943 1599">建築限界はクリアーしているので、中枝等の不要な枝を切除し、なるべく風通しの良い枝振りを維持する。</p>	
特記事項	<p data-bbox="185 1861 943 1935">ホルトノキを生かすためには車両の通行を一方通行にし、植樹帯と同時に歩道幅員の拡大を図ることが望ましい。</p>	

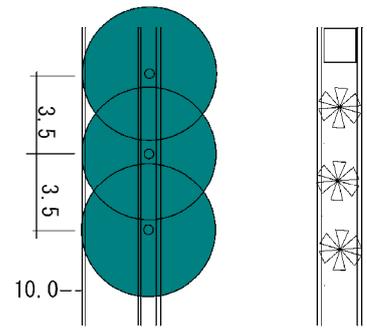
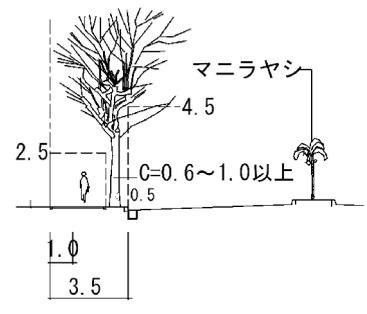
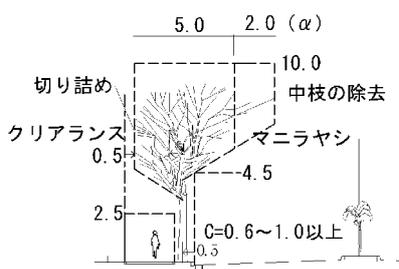
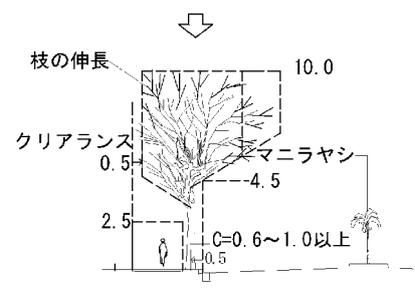
道路名：久茂地前島線 a

植栽樹種	デイゴ	図面
現況写真		
考察	<p>生育は良好であるが、害虫被害を受けて開花状況は不良。低木や植栽地の管理が行き届いていないので雑然とした感がある。</p>	 <p>※プロポーシオン 川沿いに制約なし、よってプロポーシオンは設定せず</p>
計画のテーマ・目標	<p>剪定計画</p>	
剪定タイプ：育成タイプ	自然樹形：卵円形	
<p>計画樹冠：H=10.0. W=5m (枝張り比=0.5)</p>		
剪定の要領	<p>・ 車道側の建築限界をはみ出た枝を切り詰める。 ・ 絡み枝、ふところ枝などの中間枝を整理し、樹高 10mまでの樹冠に導く。 ・ 河川側の枝は突出していなければ切り詰めずとも良い。</p>	
特記事項		

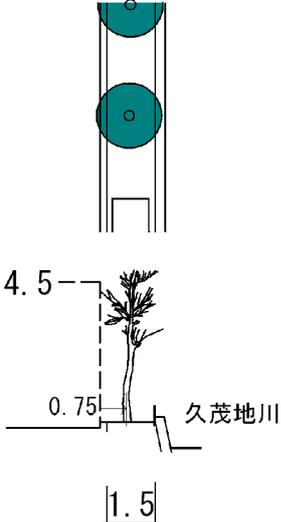
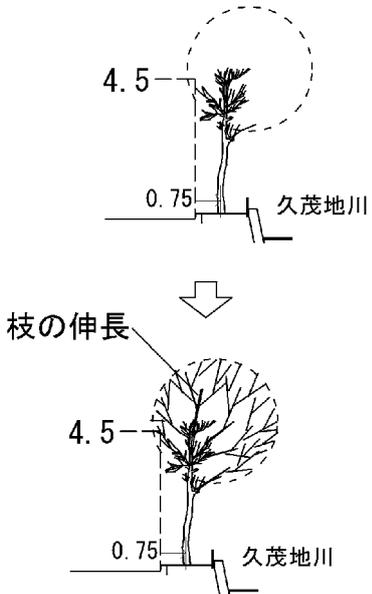
道路名：久茂地前島線 b

<p>植栽樹種</p>	<p>クロヨナ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: center;">  <p>久茂地川</p> </div> </div>	
<p>考察</p>	<p>生育は良好。景観面からも一定の効果を果たしているがみどりの量感がやや不足。</p> <p style="text-align: right;">※プロポーション 川沿いに制約なし、よってプロポーションは設定せず</p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：盃状形</p>	
<p>計画樹冠：H=7.0. W=5m (枝張り比=0.5)</p>		
<p>剪定の要領</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>10.0</p>  <p>4.5</p> <p>1.0</p> <p>久茂地川</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>↓</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>10.0</p>  <p>4.5</p> <p>1.0</p> <p>久茂地川</p> </div> </div>	
<p>特記事項</p>		

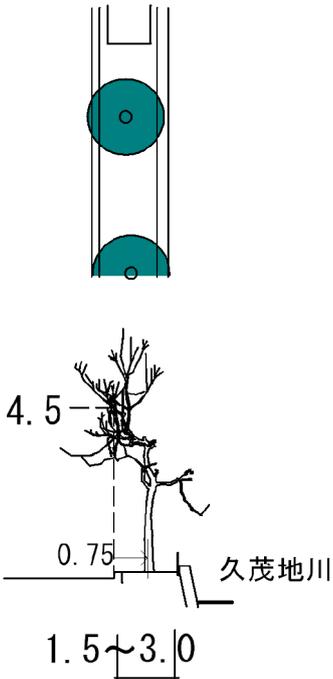
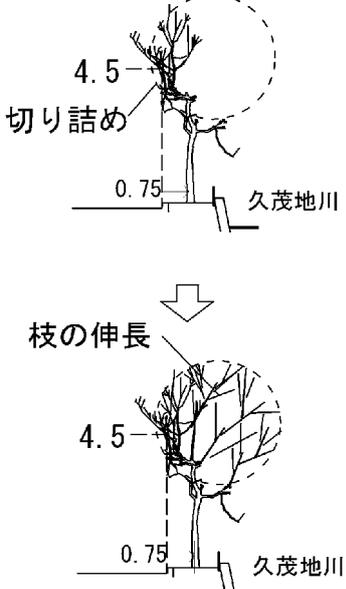
道路名：牧志 23 号

<p>植栽樹種</p>	<p>ホウオウボク</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div style="text-align: center;"> <p>ホウオウボク</p>  <p>マニラヤシ</p>  </div>	
<p>考察</p>	<p>※プロポーション</p> $W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0+\alpha 2=7$ $H=5.0 \div 0.5=10.0$	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：維持タイプ</p>	<p>自然樹形：盃状形</p>	
<p>計画樹冠：H=10.0 . W=7.0m (枝張り比=0.5)</p>		
<p>剪定の要領</p>	<p>樹木によっては目標樹高に至ったものもある。</p> <p>剪定は、建築限界にはみ出た枝を切り詰め、絡み枝やふところ枝などの中間枝を切除し、樹冠を盃状にまとめる。</p> <p>車道側の枝は、突出していなければ切り詰めずそのまま伸長させて構わない。</p>	
<p>特記事項</p>	<p>大型種のホウオウボクを 3.5m間隔で植栽してある。間隔が狭すぎて枝が競合し、一本の樹形を美しくたもつことができない。間引きして間隔を広げるのが良い。</p> 	

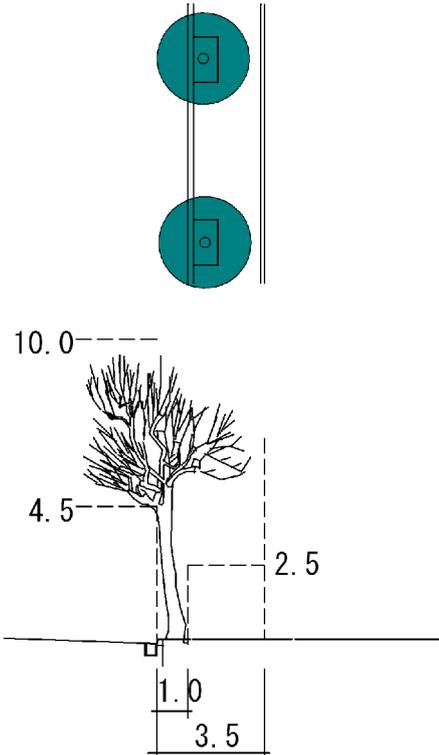
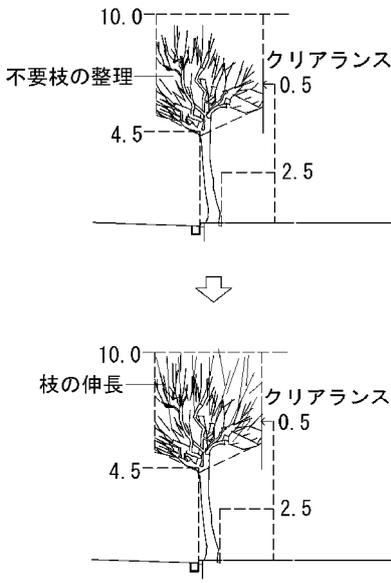
道路名：泉崎牧志線 a

植栽樹種	オオバアカテツ	図面	
現況写真			
 <p data-bbox="244 792 429 824">オオバアカテツ</p>			<p data-bbox="1034 324 1262 358">オオバアカテツ</p> 
考察	<p data-bbox="188 1106 794 1218">花木を主体とした植栽であるが、いずれの樹種も生育が不安定で、みどり景観としてまとまり感がない。</p> <p data-bbox="820 1144 1437 1256">※プロポーション ※川沿いに制約なし、よってプロポーションは設定せず</p>		
計画のテーマ・目標	<p data-bbox="970 1272 1075 1305">剪定計画</p>		
剪定タイプ：育成タイプ	自然樹形：玉形		
<p data-bbox="188 1402 735 1435">計画樹冠：H=7.0 . W=5m (枝張り比=0.7)</p>			
剪定の要領			
<p data-bbox="217 1491 692 1525">目標樹高は7mとし、樹冠を上部に導く。</p> <p data-bbox="188 1532 943 1603">剪定は車道側の建築限界にはみ出た枝は切り詰めるが、河川側は切り詰めずにそのまま伸長させる。</p>			
特記事項			
			

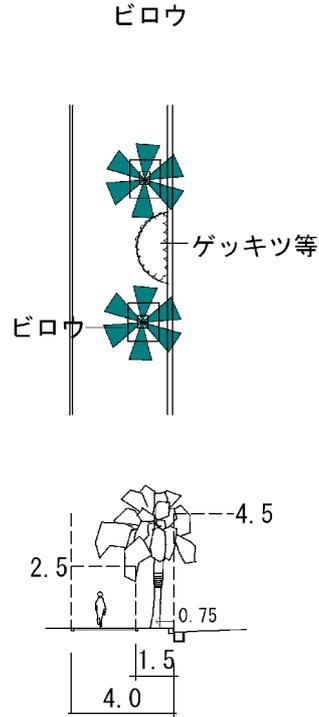
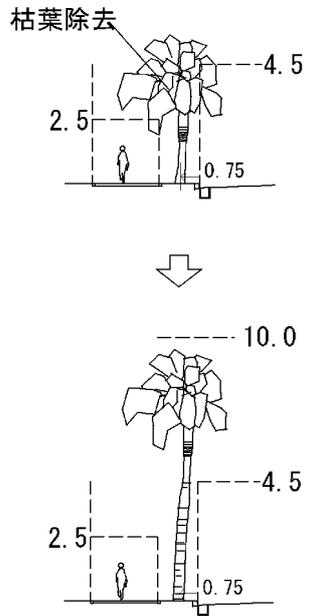
道路名：泉崎牧志線 b

<p>植栽樹種</p>	<p>ゴールデンシャワー</p>	<p>図面</p>	
<p>現況写真</p>			
			
<p>考察</p>			
<p>台風で枝が折損したこともあるが、枝の出方が少ない。そのため、みどりの量感不足。</p>	<p>※プロポーシオン ※川沿いに制約なし、よってプロポーシオンは設定せず</p>		
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>		
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：玉形</p>		
<p>計画樹冠：H=8.0 . W=4m (枝張り比=0.5)</p>			
<p>剪定の要領</p>			
<p>目標樹高は7mとし、樹冠を上部に導く。 剪定はオオバアカテツ同様、車道側の建築限界にはみ出た枝は切り詰めるが、久茂地川側は切り詰めずにそのまま伸長させる。</p>			
<p>特記事項</p>			
			

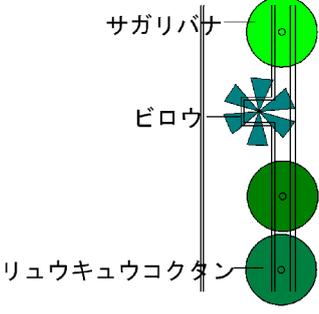
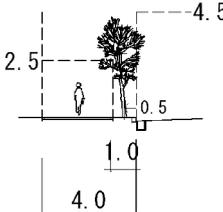
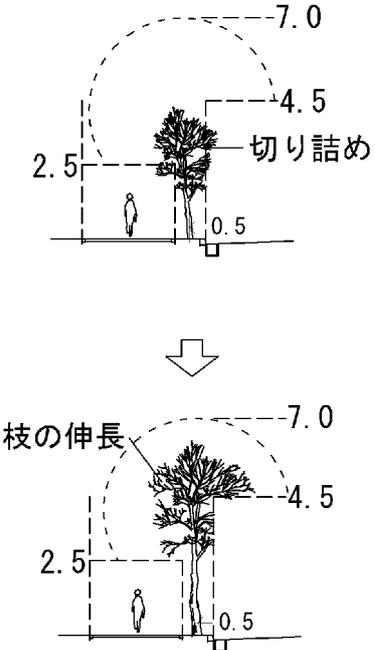
道路名：前島南線

<p>植栽樹種</p>	<p>タイワンフウ</p>	<p>図面</p>	
<p>現況写真</p>	 <p data-bbox="316 833 635 869">大きく育ち樹形管理が必要</p>		
<p>考察</p>	<p>タイワンフウがみどりのラインを形成し、久茂地川の水面景観と一体となり極めて良好。市街地に潤いのある環境を創出している。</p> <p>狭い歩道において大きなタイワンフウを維持するためには適切な剪定が必要。</p> <p>植樹柵による植栽だが、根のほうの問題は特にない。</p>		<p>※プロポーシヨン</p> $W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0$ $H=5.0 \div 0.5=10.0$
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>		
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：円錐形</p>		
<p>計画樹冠：H=10.0 . W=5m (枝張り比=0.5)</p>			
<p>剪定の要領</p>	<p>樹高としては完成に至っているが、樹形を構成する幹の状況に改善が必要である。</p> <p>樹形を盃状に設定し、目標樹高を 10mとして四方に枝を張らせる幹の整理を行い、場合によっては樹形再生タイプの剪定も含めて形を矯正する。</p>		
<p>特記事項</p>			

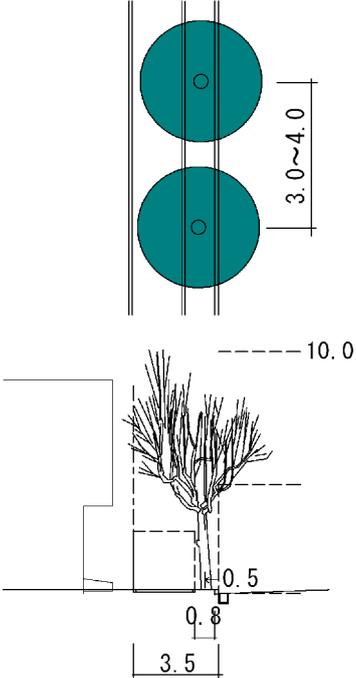
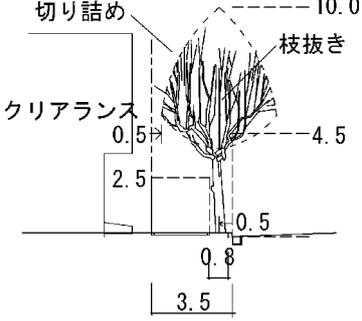
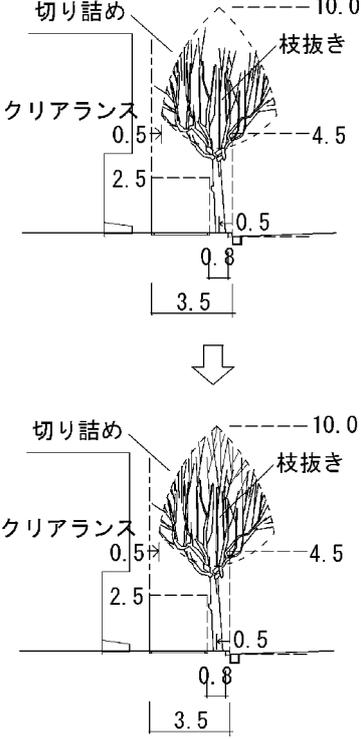
道路名：泉崎北線

植栽樹種	ビロウ	図面
現況写真		
 <p>比較的緑量豊かなビロウ</p>		<p>※プロポーションは設定しない</p>
考察	<p>台風の影響を受けているが、生育は良好。ビロウは一定の緑陰効果を発揮していて、街並み景観の形成にも一役かっている。</p>	
計画のテーマ・目標	<p>剪定計画</p>	
剪定タイプ：育成タイプ	<p>自然樹形：ヤシ形</p>	
<p>計画樹冠：H=10 . W=m (枝張り比=)</p>		
剪定の要領	<p>枯葉が発生した場合、落下して散在し、障害物とならないよう枯葉除去を行う。 樹高はできるだけ上部に伸ばし、高さ 10mにこだわらない。</p>	
特記事項		

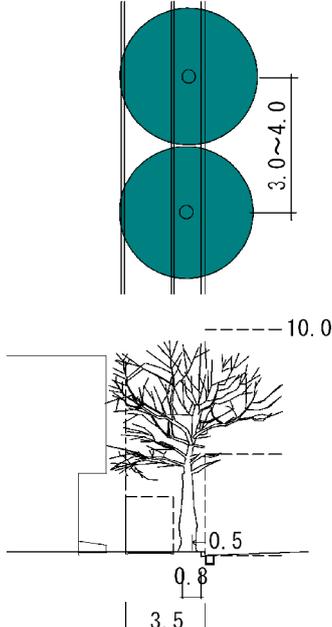
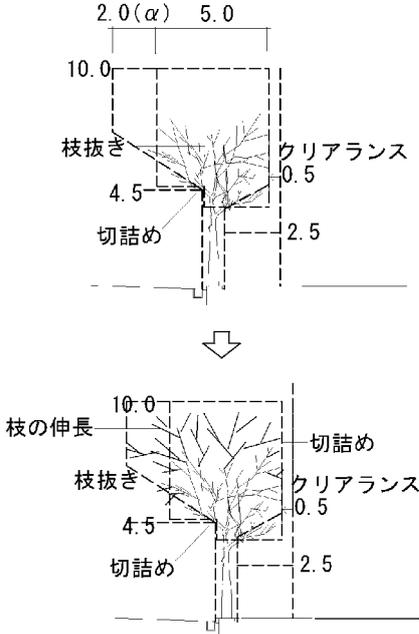
道路名：泉崎松尾線

<p>植栽樹種</p>	<p>リュウキュウコクタン</p>	<p>図面</p>	<p>リュウキュウコクタン</p>  
<p>現況写真</p>			
<p>考察</p>	<p>生育は良く、みどりのライン軸もできているが、まとまり感に欠ける。</p>		<p>※プロポーション $H=4.0-(1.5+0.5) \times 2=4.0$ $W=4.0 \div 0.6=7.0$</p>
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>		
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：玉形</p>		
<p>計画樹冠：H=7.0 . W=4.0m (枝張り比=0.6)</p>			
<p>剪定の要領</p>	<p>まだ目標樹高に至っていないので、建築限界にはみ出した枝を切り詰め、絡み枝など混んだ中枝を整理しながら樹冠を上部に導く。 上方枝は、突出しない限り、切り詰めしないこと。</p>		
<p>特記事項</p>	<p>商業地であるためクリアランスは広め(1.5m)にとる。</p>		

道路名：壺川8号a

<p>植栽樹種</p>	<p>台湾フウ</p>	<p>図面</p>	
<p>現況写真</p>			
 <p>完成形に近い台湾フウ</p>	 <p>※プロポーション $W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0$ $H=5 \div 0.5=10.0$</p>		
<p>考察</p>	<p>台風で落葉しているが、台湾フウは樹高 10m程度に育ったものもあり、緑量感もある。樹形が円錐形なので、大きく育っているわりにはそれほど民有地に進入していない。</p>		
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>		
<p>剪定タイプ：育成・維持タイプ</p>	<p>自然樹形：円錐形</p>		
<p>計画樹冠：H=10.0 . W=5.0m (枝張り比=0.5)</p>			
<p>剪定の要領</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標高さまで育っているものは、枝抜きと樹冠線からはみ出た枝の切り詰め剪定を行う（維持タイプ）。 ・まだ目標高さまで至っていないものは、からみ枝などの枝だ透かしを行い樹冠の拡大を待つ（育成タイプ）。 		
<p>特記事項</p>			

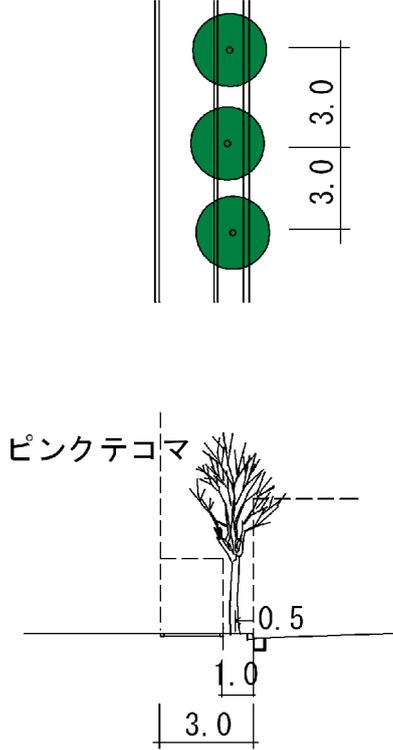
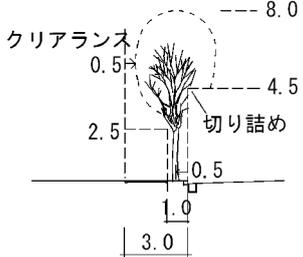
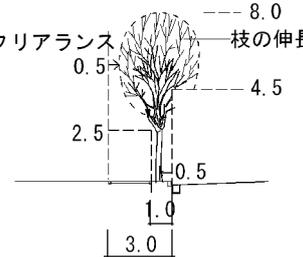
道路名：壺川8号b

<p>植栽樹種</p>	<p>トックリキワタ</p>	<p>図面</p>	
<p>現況写真</p>			
	<p>トックリキワタ</p> <p>100126</p>  <p>維持タイプ</p> <p>※プロポーション $W=3.5 \cdot (0.5+0.5) \times 2 = 5.0 + \alpha 2 = 7$ $H=5 \div 0.5 = 10.0$</p>		
<p>考察</p>			
<p>トックリキワタは高さ6~10m、幹周りは100~150cmまで育ち、完成形に至ったものもある。</p>			
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>		
<p>剪定タイプ：維持・育成タイプ</p>	<p>自然樹形：盃状形</p>		
<p>計画樹冠：H=10.0 . W=7.0m (枝張り比=0.5)</p>			
<p>剪定の要領</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・目標の高さまで育っていないものは、側枝やからみ枝などの切り詰めを行って形を整え、樹高を高い位置に誘導する。 ・高さが目標に達したものは、側枝や頂部の切り詰め剪定を行い、目標とする樹形・規格に収める。 ・樹形は盆栽で言う「懸崖」は枝の先が下部にあるが、枝の先がその逆の上に位置する形で良い。 			
<p>特記事項</p>			
<p>トックリキワタのような大型種は、管理上の問題から高さは10mにとどめるが、車道上の枝は計画線から外に出ても構わない。</p>			

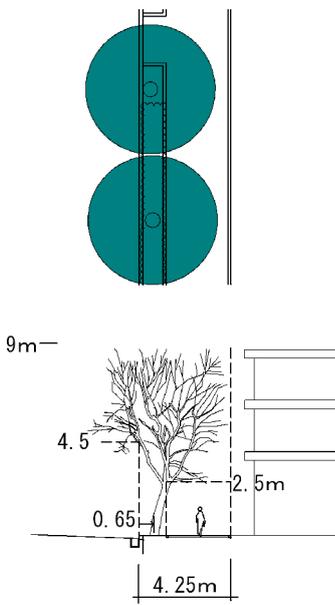
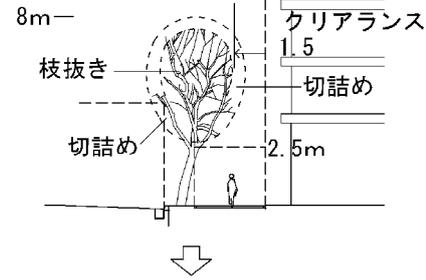
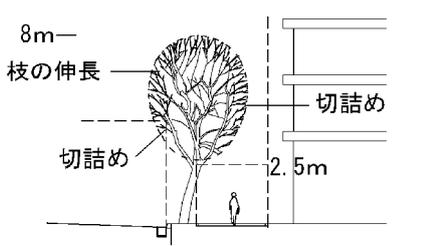
道路名：壺川18号a

<p>植栽樹種</p>	<p>センダン</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>		
<p>単一木としては見栄えの良いセンダン</p>	<p>※プロポーション</p> $W = (3.0 - (0.5 + 0.5)) \times 2 = 4.0 + \alpha 2 = 6$ $H = 4 \div 0.5 = 8.0$	
<p>考察</p>	<p>まったく樹形の異なる樹種が植栽されているので植栽景観としてはまとまりがない印象を受けるが、センダンは幹周りが 130 cm程度に育っているものがあり、単一木としては見栄えが良い。ピンクテコマには幹が切断されたものがある。</p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：維持・縮小タイプ</p>	<p>自然樹形：盃状形</p>	
<p>計画樹冠：H=8.0. W=6.0m (枝張り比=0.5)</p>		
<p>剪定の要領</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・民有地側のはみ出た枝は切り詰め、高さは管理を考慮して10m程度とする。 ・車道上の枝はある程度伸張しても建築限界に侵入しなければそのままにしておき、切り詰めはしない。 		
<p>特記事項</p>	<p>綺麗な盃状の形にこだわらず、一本ごとの自然に生まれる樹形に委ねるのが良い。</p>	

道路名：壺川18号b

<p>植栽樹種</p>	<p>ピンクテコマ</p>	<p>図面</p>	
<p>現況写真</p>			
 <p>ピンクテコマの生育が不揃い</p>		 <p>※プロポーション $W=3.0-(0.5+0.5) \times 2=4.0$ $H=4 \div 0.5=8.0$</p>	
<p>考察</p>	<p>過去に幹途中から切り戻しされ、その後伸張して今の状態になったと考えられる。</p>		
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>  		
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：卵円形</p>		
<p>計画樹冠：H=8.0. W=4.0m (枝張り比=0.5)</p>			
<p>剪定の要領</p>	<p>樹冠を大きく育てる。切り詰めは行わず、そのまま枝を伸長させて、その中から副主枝となる枝を残し、残る不要な枝を切除し、数年掛けて樹形をつくる。</p>		
<p>特記事項</p>	<p>大きな樹冠をつくるという視点が重要。</p>		

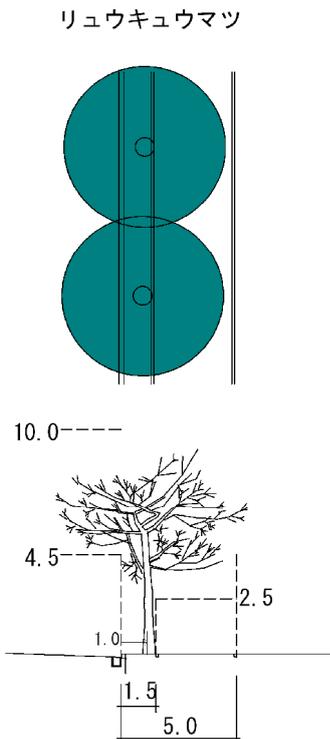
道路名：泉崎楚辺線 a

<p>植栽樹種</p>	<p>オオバナソシンカ</p>	<p>図面</p>	
<p>現況写真</p>			
	<p style="text-align: center;">ファイリソシンカ</p>  <p style="text-align: center;">※プロポーション $W=4.25 \cdot (0.6+1.5) \times 2=4.0$ $H=4 \div 0.5=8.0$</p>		
<p>考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・骨格となる主幹のバランスが悪く、枝の頂部優勢が顕著で不要枝も多い。 ・樹高も目標より大きくなっており、目標より低く抑える必要がある。 		
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>通りを飾る歩道の花木</p>		
<p>剪定タイプ：縮小タイプ</p>	<p>自然樹形：楕円形</p>		
<p>計画樹冠：H=8.0. W=4.0m (枝張り比=0.5)</p>	<p>剪定計画</p>		
<p>剪定の要領</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・樹冠は高さ 9m、葉張り 6mと大きくなりすぎているので、もう少しコンパクトにまとめる必要がある。台風からの倒木を防ぐ観点から樹高は7mで抑える。 ・地域住民からクリアランスを 1.5m確保して欲しいとの要望がある。 			
<p>特記事項</p>			
 <p style="text-align: center;">□剪定後の状況</p>			

道路名：泉崎楚辺線b

<p>植栽樹種</p>	<p>トックリキワタ</p>	<p>図面</p>	<p>※プロポーション $W=4.0-(0.5+0.5) \times 2=6.0+\alpha 2=8$ $H=6 \div 0.6=10.0$</p>
<p>現況写真</p>	<p>樹形の再生が必要なトックリキワタ</p>		
<p>考察</p>	<p>トックリキワタの樹冠が大きくなり、強剪定が行われた後の樹形管理が行われていないために樹形が乱れている。</p>		
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>		
<p>剪定タイプ：育成、維持タイプ</p>	<p>自然樹形：盃状形</p>		
<p>計画樹冠：H=10.0・W=8.0m (枝張り比=0.6)</p>			
<p>剪定の要領</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹形の矯正が必要。 ・ 盃状の樹形を設定し、主枝を決めて切り返し剪定を行い、萌芽を促し、不要な枝は切除する。 ・ 先述の壺川8号bに準ずる。 		
<p>特記事項</p>	<p>樹形ができあがるまでには数年かかる。</p>		

道路名：城岳小学校北側線

植栽樹種	リュウキュウマツ	図面
現況写真		
考察	<p>リュウキュウマツが大木となり、豊かなみどりを呈している。十分な緑陰を提供して歩道は快適。</p>	<p>※プロポーション $H=5.0-(1.0+0.5) \times 2=7.0$ $W=7.0 \div 0.7=10.0$</p>
計画のテーマ・目標	剪定計画	
剪定タイプ：育成・維持タイプ	自然樹形：盃状形	
計画樹冠：H=10.0 . W=7.0m (枝張り比=0.7)		
剪定の要領	<p>目標樹高に至ったものとまだ至っていないものがある。</p> <p>目標樹高に至っていないものは、民有地側の建築限界に侵入した枝や絡み枝などの中枝を透かし、樹冠を上部に導く「育成タイプ」の剪定を行う。</p> <p>目標に至ったものは、樹高 10mの樹高にとどめて切り詰めるほか、混んだ中枝を切除する「維持タイプ」の剪定を行う。</p>	
特記事項	